

2022年度 サイバー防犯 ボランティア



目次

1

活動紹介

2

活動実施報告

①防犯教室

②全国意見交換会

③広報啓発コンテスト

3

今後の活動に向けて

活動紹介

「サイバー防犯ボランティア」は大阪府警察本部サイバー犯罪対策課と協力して大阪府内の小学校へ赴き、児童にSNS等の安全な使い方を知ってもらうための出前授業を実施する活動。2019年度にボランティアとして参加。2020年度からは、防犯教室のみならずワークショップへの参加や広報動画作成など活動の場を広げている。



授業時間は、質疑応答を含めて約45分。
大阪府警作成のパワーポイントを基に
学生が先生となり授業を実施する。

教材 一部抜粋

「子どものインターネットトラブル」ということで
3つのお話を持ってきました。
一つ一つのお話の中で大切にしたいポイントを
伝えるので、最後までしっかりと聞いてください。



今日のまとめ

時間とお金の

① (^{つか} **使いすぎ**) には ^{ちゅうい} 注意

② 人の (^{きもち} **気持ち**) を考えよう

^{ぜったい}
絶対に

③ (**会わない・送らない**)

教材 一部抜粋

最後に今日のまとめです。

みんなは三つのお話を聞いて

どんなことに気を付ければいいのかを勉強しました。

覚えているかな？

教材 一部抜粋

でも、もしネットでトラブルに

巻き込まれてしまったら

一人で悩まずに、先生やお家の方など、

身近な大人の人に、相談するようにしましょう。

ネットでトラブル



^{そうだん}
大人に相談しましょう

活動実施報告

日程	授業コマ数	対象小学校	対象学年	担当学生数	対象人数	実施方法
7月5日(火)	1コマ	大阪市立太子橋小学校	5年生	2名	約75名	対面
7月14日(木)	2コマ	泉佐野市立北中小学校	3～6年生	4名	約220名	オンライン
9月9日(金)	1コマ	香里ヌヴェール学院	4年生	3名	約90名	対面
11月7日(月)	1コマ	大阪市立桃陽小学校	5年生	1名	約90名	対面
11月29日(火)	3コマ	大阪市立茨田南小学校	4～6年生	3名	約240名	対面
12月15日(木)	2コマ	枚方市立磯島小学校	5・6年生	2名	約140名	対面
2月8日(水)	1コマ	大阪市立南市岡小学校	5・6年生	1名	約90名	対面
3月6日(月)	1コマ	大阪市立高津小学校	5・6年生	1名	約40名	対面

参加学生数：17名 参加児童数：約945名 参加学校数：8校

活動実施報告（防犯教室）

今年度は、オンライン1校、対面授業7校の計8校に向けて出前授業を実施した。対面授業は2年ぶりの復活となり、経験者の学生は居なかったが、研修児童の反応がその場で伝わってくるのでやり取りもスムーズになり充実度が増加した。

学生が質問を投げかけると、積極的に手を挙げる児童が多く活発な雰囲気を感じることが出来た。



参加学生の感想

このサイバー防犯ボランティアの活動の中で1番気をつけている事は、小学生たちが情報をきちんと知るにはどのような話せばいいのかということです。大体は10歳～12歳の少し大きな児童が相手である事が多いので、あまり子供向けすぎても逆に伝わりにくいので、その辺りのバランスには気をつけています。そんな中、少し盛り上がるような反応が欲しい所で「えー！」といった反応が貰えればとても嬉しいですし、その衝撃が今後の知識や防犯意識に繋がってくれば良いなと感じます。

沖津 綾乃さん（対面授業3回参加）



活動実施報告（6府県意見交換会）

計6府県7団体から、それぞれサイバー防犯ボランティア活動状況の発表があり
本学は大阪代表として

「大阪府内小学校に対する防犯教室の実施（リモート・対面）と
防犯啓発リレー動画について」約10分間発表。

その後、各大学に対して質疑応答や、意見交換を実施する時間があり、
全国の警察や他大学と意見を交わし、貴重な体験となった。



活動実施報告（広報啓発コンテスト）

警察庁主催 広報啓発コンテストの本審査に
ボランティアバンク学生 5 名が作成した動画が選出されました。
学生 5 名がフィッシング対策をテーマに
"気を付けようフィッシング詐欺"という動画を作成。
企画・撮影・編集等、全て自分たちで行い、完成させました。
結果、予備審査を通過し、本審査へ進むことができました。
動画は、以下のQRコードから是非ご覧ください。



今後の活動に向けて

2022年度は、対面でのサイバー防犯教室が復活し、主な活動となった。新規参加学生が7名増え、来年度の活動をけん引するメンバーになると期待している。防犯教室以外の活動にも力をいれることが出来、全国意見交換会や警察庁主催の広報啓発コンテストに参加し、コンテストでは本審査に進むことが出来た。このような結果が、参加学生のモチベーションアップにも繋がり今後の活動の幅を広げるきっかけになる。

今後、公務員志望の学生を含め、より多くの学生がサイバー防犯ボランティアに参加できるように既存メンバーで新規募集の呼びかけ等を行っていきたい。